

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス悠友		
○保護者評価実施期間	令和8年2月20日		～ 令和8年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	令和8年2月20日		～ 令和8年3月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に応じて1階・2階を使い分け、安全かつ落ち着いた支援環境を確保。	事業所内の段差や危険箇所も改善され、バリアフリー化が進んでいる。	保護者の意見を反映した業務改善が行われている。
2	支援前後のミーティングを徹底し、記録・共有が確実に行われている。	事業者連絡会・社内勉強会・リモート研修など、多様な方法で職員の資質向上を図っている。	季節ごとに防災用品(衣類・食料・薬品など)を点検・交換。
3	アセスメントに基づいた個別支援計画が作成され、PDCAサイクルが日常的に機能している。	活動プログラムも固定化せず、創造的な支援内容を維持している。	送迎時の対話、連絡帳やLINEによる情報共有を日常的に実施。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者評価の実施	次年度、外部評価機関による評価を受け、改善計画に反映する。	研修・事例検討会・外部連携を通じ、専門性の高い人材育成を推進する。
2	地域交流の強化	地域住民・近隣施設とのイベント(ハロウィン・クリスマス等)に加え、学校・福祉団体との連携を拡大。	地域の理解・協力を得ながら、共生社会の実現に貢献する取り組みを行う。
3	父母会・保護者会の活性化	保護者同士の情報交換の場を定期的に設け、支援の一体感を高める。	支援内容・環境・活動構成をより個別化し、安心できる生活空間を継続的に提供する。